

【末広学園エンブレム】

愛称「末広学園」
この愛称は、児童生徒、
教職員、地域における
一体感を醸成するた
めの合言葉の意味合
いをもたせたもの。



児童生徒の強みと課題

○明るく素直で、友達と協力して活動できる。
委員会活動や係活動等、任された仕事に対
して、責任をもって着実に取り組むことがで
きる。授業における規律も確立している。
△自ら考え行動することや、課題に対して考
えを深めたり表現したりすることに課題があ
り、自分のよさをおる程度自覚している一方
で十分に自信がもてないため、主体性を発
揮し切れない。

地域の特徴

静岡市の中心部に位置しており、静岡駅の北西部
及び南部の一部に広がっている。かつては古い歴
史をもつ中小家内工業地帯で、現在も家具製作、
製茶などの製造業、建築業、あるいは商業関係の
職業従事者が多く、市の中心部ではあるが、下町的
な雰囲気をもっている。また、古くからの市街地
であるため、人口流入は比較的少ない。4つの自治
会連合会との連携は良好であり、学校教育や児童
生徒の健全育成に対しても非常に協力的である。

視点1:学校教育目標の共有

末広学園教育目標 「自立 共生」

(自立) 自ら考え、判断し、自分の言葉で語り、行動する (共生) お互いの人格と個性を認め合い、支え合いながら共に生きる

軸となる取組

多様な児童生徒一人ひとりを大切にした教育活動の展開

視点2 9年間の連続性・系統性

【授業創り部】対話を通じて学びを広げ、深める教科の授業

- 主体性を育てるための手だての共有
- 個別最適・協働的な学びで主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- 直接参観や動画撮影等による授業実践の共有
- 一人一人の考えの可視化や思考を促す工夫等、効率的・効果的なICT活用

【道徳人権教育部】人権や多様性に関わる道徳等の授業の充実

- グループ内の重点項目として「友情・信頼」の実施
- 各学級における道徳コーナーの充実

【総合的な学習・生活部】主体性を引き出し、追究力を高める探究活動

- 9年間の系統性を踏まえた学習過程づくり

【ICT推進部】学校教育全般におけるICTの効果的活用推進

- ICTの日の設定と活用、及び情報モラルの向上
- 校務への効率的活用の促進

【生徒指導部】小中9年間で連続した生徒理解、生徒指導

- 中1ギャップ解消活動の実施
- 共通化したルールメイキングの手法の確立
- 多様な生徒一人一人への効果的な対応の共有



【学校図書館部】心を育む読書指導

- 末広学園図書館だよりの発行
- 「(仮)読書アドベンチャー」の実施(スタンプラリー等)

【健康担当部】心を育む健康保健指導

- 9年間を見通し、人権や多様性を基盤とした末広学園包括的性教育の充実

【特別支援教育部】個のニーズに応じた支援の充実、UDを踏まえた授業、環境づくりの推進

- 生徒の実態をていねいにつかむ(主に読み書き)とともに、特別支援学級や通級指導教室の生徒理解の視点を共有し、生徒指導につなげる

視点3:児童生徒の交流

【特別活動部】主体性を引き出し行動力を高める特別活動

- 小中一貫あいさつ活動の実施
- 中学校見学、中学校部活動体験
- 3つの小学校交流会

視点3:教職員の協働

- 積極的な授業公開・参観
- 末広学園の日の設定と活用
- スタートカリキュラムによる幼小連携
- 末広学園教育活動推進局会議、末広学園夏季研修会の実施



視点4:地域との連携

末広中学校区学校運営協議会 ～みんなが「しあわせ」を感じる地域～

委員:各地区連合自治会長、学識経験者、学校評価委員、各学校PTA代表、各学校長・教頭 青少年健全育成会代表、民生委員児童委員協議会代表、地域コーディネーター、こども園代表、(事務局:各学校教務)

内容:年間2回の学校運営協議会における学校経営計画等に対する意見交換、審議、承認等

評価部会

- 年4回開催
- 末広中学校区1中3小を直接参観し、学校説明等を踏まえた意見交換 (学校担当:各校教務主任)

地域支援部会

- 年3回程度開催
- 末広中学校区1中3小の学校応援団活動の連絡調整、支援活動 (学校担当:各校教頭)

子ども見守り・あいさつ部会

- 末広中学校区健全育成会で構成
- 理事会、大会開催
- 健全育成に関わる活動 (学校担当:各校教頭)

幼小連携部会

- 年数回程度開催
- 番町小3園、新通小3園、安西小4園の代表者で構成
- 幼小接続の意見交換 (学校担当:各校教頭)